

2022年5月11日

各 位

上場会社名 株式会社 LIFULL
 代表者名 代表取締役社長 井上 高志
 (コード番号 2120 東証プライム)
 問合せ先 執行役員グループ経営推進本部長 福澤 秀一
 (TEL 03-6774-1603)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年11月11日公表の「2022年9月期通期（2021年10月1日～2022年9月30日）の業績予想」を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年9月期通期業績予想の修正

連結業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想（A）	39,000	1,700	700	5.31
今回修正予想（B）	36,000	400	△100	△0.76
増減額（B－A）	△3,000	△1,300	△800	△6.07
増減率（%）	△7.7	△76.5	△114.3	△114.3
ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	35,857	△6,644	△5,901	△44.78

2. 業績予想修正の主な要因

当期のセグメント毎の連結売上収益業績予想数値は以下の通りです。

（単位：百万円）

セグメント別売上収益比較	HOME'S関連	海外	その他	合計
前回発表予想（A）	27,832	8,192	2,974	39,000
今回修正予想（B）	25,938	7,192	2,869	36,000
増減額（B－A）	△1,894	△1,000	△105	△3,000
増減率（%）	△6.8	△12.2	△3.5	△7.7
ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	26,693	7,019	2,144	35,857

【修正の理由について】

当期における当社グループの業績予想については、依然として新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による懸念は完全に払拭できていないものの、経済活動の緩やかな回復基調が継続する事を前提としておりました。またそれらの予想に基づき、中長期的な事業成長に向けて積極的な成長投資を計画しており、投資計画に対しては順調に進捗しております。

しかしながら、一時的な不動産流通領域におけるニーズの高まりの反動や、オミクロン株をはじめとする変異株の流行、ウクライナ情勢等、経済活動全体ならびに不動産市場への影響が懸念される事案による停滞感が出てきております。

LIFULL HOME'S を中心とする国内事業においては、メディアの強化を中心とした中長期的な投資が計画に対して順調に進捗しており、今後も継続する見込みとなっております。しかしながらリモートワークの普及や外出自粛期間の長期化による新たな需要の拡大に伴う供給戸数の減少、土地や資材価格の高騰による不動産価格の上昇や新規共有戸数の回復遅延、海外渡航制限を背景とした外国人移動者数が低下等、短期的には当初予想を下回る部分が出てきております。加えて一部サービスにおけるアライアンスパートナーの見直しを含む戦略変更を実施したこともあり、前回予想を下回る見込みです。

また海外においては、1月に複数か国でサービス展開されている不動産ポータルサイト「Properati」を事業譲受する等、特に南米を中心としたポータル事業の成長に向けた積極的な投資を実施しております。加えて欧州や北米を中心としたアグリゲーションサイトの収益を拡大するべく集客力強化や、サービスの高度化にも取り組んでまいりました。しかしながら、前述のとおり先行き不透明感による広告予算の抑制等、経済活動全般の回復状況は当初予想を下回って推移しております。

詳細は同日に開示を行っております「2022年9月期第2四半期 決算説明資料」のP9～15に記載の通りです。

(注) 業績予想に関する留意事項

上記の予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上